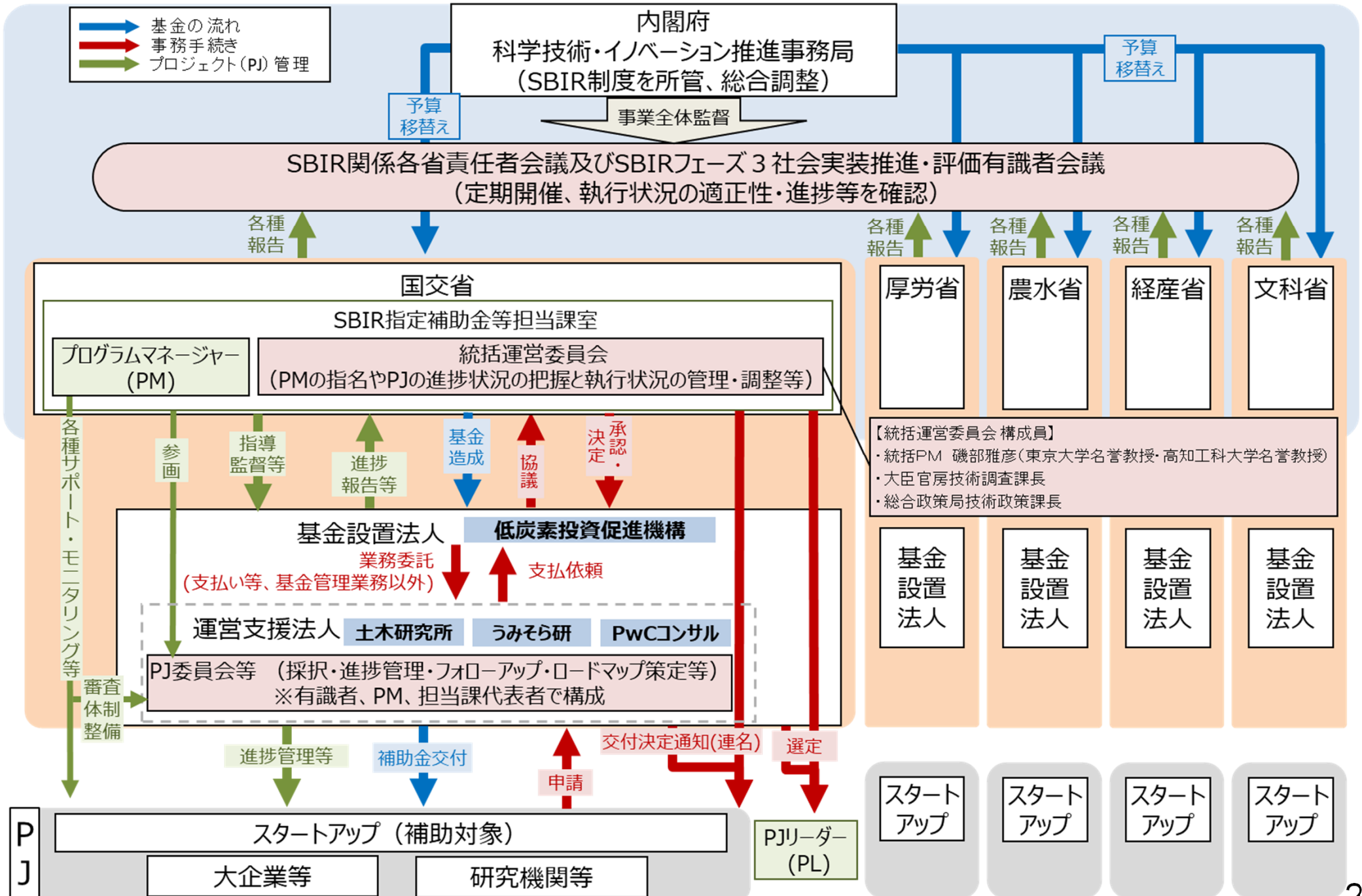


# SBIRフェーズ3基金事業 フォローアップ委員会の実施について

---

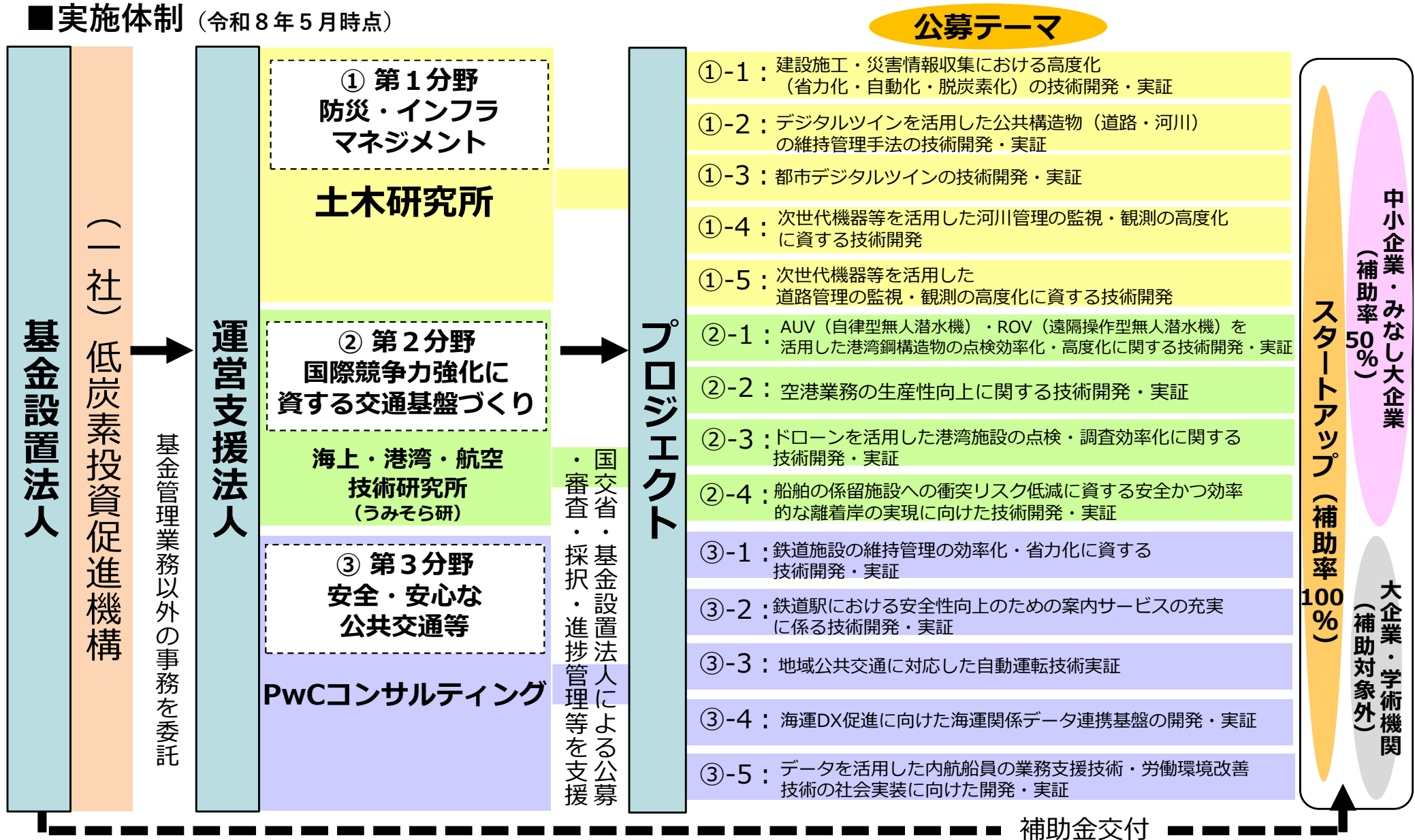
国土交通省  
令和8年5月28日

## SBIRフェーズ3基金事業に係る執行体制及び会議体について



下記の実施体制の元、3つの分野に分かれてプロジェクトの進捗管理や伴走支援等を実施。

## ■実施体制 (令和8年5月時点)



## 第1分野名：

災害に屈しない国土づくり、広域的、戦略的なインフラマネジメントに向けた技術の開発・実証分野

### ■委員名簿（令和8年5月時点）

テーマ	【テーマ1】 建設施工・災害情報収集における高度化（省力化・自動化・脱炭素化）の技術開発・実証	【テーマ2】 デジタルツインを活用した公共構造物（道路・河川）の維持管理手法の技術開発・実証	【テーマ3】 都市デジタルツインの技術開発・実証	【テーマ4】 次世代機器等を活用した河川管理の監視・観測の高度化に資する技術開発	【テーマ5】 次世代機器等を活用した道路管理の監視・観測の高度化に資する技術開発
フォローアップ委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建山 和由 立命館大学 教授</li> <li>● 浅間 一 早稲田大学 上級研究員</li> <li>● 岩井 将行 東京電機大学 教授</li> <li>● 大石 正明 東京都中小企業診断士協会 副会長</li> <li>● 各務 茂夫 開志専門職大学 学長 東京大学 特命教授 名誉教授</li> <li>● 土木研究所 技術推進本部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 飯塚 敦 中央大学 専任研究員</li> <li>● 戸田 祐嗣 名古屋大学 教授</li> <li>● 今井 龍一 法政大学 教授</li> <li>● 中村 稔 東京都中小企業診断士協会 副会長</li> <li>● 土木研究所 技術推進本部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関本 義秀 東京大学 教授</li> <li>● 古橋 大地 青山学院大学 教授</li> <li>● 山本 祐一郎 東京都中小企業診断士協会 専務理事</li> <li>● 土木研究所 技術推進本部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 佐山 敬洋 京都大学 教授</li> <li>● 今泉 文寿 静岡大学 教授</li> <li>● 金野 諭 BIRD INITIATIVE(株) 代表取締役</li> <li>● 土木研究所 河川統括研究監</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長山 智則 東京大学 教授</li> <li>● 長井 宏平 北海道大学 教授</li> <li>● 柳沼 秀樹 東京理科大学 准教授</li> <li>● 片寄 裕市 東京理科大学イノベーションキャピタル(株)社長</li> <li>● 黒田 智生 (株)KSP 部長</li> <li>● 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター長</li> </ul>
行政委員・PL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大臣官房参事官（イノベーション）</li> <li>● プロジェクトリーダー（国研）土木研究所 統括研究監</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 総合政策局 公共事業企画調整課長</li> <li>● プロジェクトリーダー（国研）土木研究所 寒地技術普及推進監</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都市局 国際・デジタル政策課長</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 都市局 国際・デジタル政策課 企画専門官</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 水管理・国土保全局 河川計画課長</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水防災システム研究官</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 道路局 国道・技術課長</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路情報高度化研究官</li> </ul>

オブザーバー：磯部 雅彦 統括プログラムマネージャー

事務局：（一社）低炭素投資促進機構、運営支援：国立研究開発法人 土木研究所

## 第2分野名：

国際競争力強化に資する交通基盤づくりに向けた技術の開発・実証分野

### ■委員名簿（令和8年5月時点）

テーマ	AUV（自律型無人潜水機）・ROV（遠隔操作型無人潜水機）を活用した港湾鋼構造物の点検効率化・高度化に関する技術開発・実証	空港業務の生産性向上に関する技術開発・実証	ドローンを活用した港湾施設の点検・調査効率化に関する技術開発・実証	船舶の係留施設への衝突リスク低減に資する安全かつ効率的な離着岸の実現に向けた技術開発・実証
フォローアップ委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横田 弘 北海道大学 名誉教授 (一財)沿岸技術研究センター 参与</li> <li>● 岩波 光保 東京科学大学 教授</li> <li>● 岡 隆宏 (一社)日本スタートアップ支援協会 代表理事</li> <li>● 黒田 優佳 国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港計画研究室長</li> <li>● 酒井 直樹 (国研)防災科学技術研究所 (一社)日本ドローンコンソーシアム 理事</li> <li>● 榊原 繁樹 東海大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横田 弘 北海道大学 名誉教授 (一財)沿岸技術研究センター 参与</li> <li>● 岩波 光保 東京科学大学 教授</li> <li>● 岡 隆宏 (一社)日本スタートアップ支援協会 代表理事</li> <li>● 黒田 優佳 国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港計画研究室長</li> <li>● 酒井 直樹 (国研)防災科学技術研究所 (一社)日本ドローンコンソーシアム 理事</li> <li>● 榊原 繁樹 東海大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横田 弘 北海道大学 名誉教授 (一財)沿岸技術研究センター 参与</li> <li>● 岩波 光保 東京科学大学 教授</li> <li>● 岡 隆宏 (一社)日本スタートアップ支援協会 代表理事</li> <li>● 黒田 優佳 国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港計画研究室長</li> <li>● 酒井 直樹 (国研)防災科学技術研究所 (一社)日本ドローンコンソーシアム 理事</li> <li>● 榊原 繁樹 東海大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 横田 弘 北海道大学 名誉教授 (一財)沿岸技術研究センター 参与</li> <li>● 岩波 光保 東京科学大学 教授</li> <li>● 岡 隆宏 (一社)日本スタートアップ支援協会 代表理事</li> <li>● 黒田 優佳 国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港計画研究室長</li> <li>● 酒井 直樹 (国研)防災科学技術研究所 (一社)日本ドローンコンソーシアム 理事</li> <li>● 榊原 繁樹 東海大学 教授</li> </ul>
担当部署・PL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾局 参事官(技術監理・情報化)室</li> <li>● プロジェクトリーダー (国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 構造研究領域長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 航空局 航空ネットワーク部 空港技術課</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 国土技術政策総合研究所 空港研究部長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾局 参事官(技術監理・情報化)室</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾情報化支援センター長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾局 参事官(技術監理・情報化)室</li> <li>● プロジェクトリーダー 国土交通省 国土技術政策総合研究所 港湾・沿岸海洋研究部長</li> </ul>

オブザーバー：磯部 雅彦 統括プログラムマネージャー

事務局：(一社)低炭素投資促進機構、運営支援：国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所

## 第3分野名：

安全・安心な公共交通等の実現に向けた技術の開発・実証分野

### ■委員名簿（令和8年5月時点）

テーマ	鉄道施設の維持管理の効率化・省力化に資する技術開発・実証	鉄道駅における安全性向上のための案内サービスの充実に係る技術開発・実証	地域公共交通に対応した自動運転技術実証	海運DX促進に向けた海運関係データ連携基盤の開発・実証	データを活用した内航船員の業務支援技術・労働環境改善技術の社会実装に向けた開発・実証
フォローアップ委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 河村 篤男 横浜国立大学 名誉教授</li> <li>● 神田 政幸 (公財)鉄道総合技術研究所 事業推進部長</li> <li>● 西岡 英俊 中央大学 教授</li> <li>● 大竹 敏雄 (一社)日本鉄道施設協会 会長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 岩倉 成志 芝浦工業大学 教授</li> <li>● 伊藤 昌毅 東京大学大学院 准教授</li> <li>● 水上 直樹 (公財)鉄道総合技術研究所 コンプライアンス推進室長</li> <li>● 宮武 昌史 上智大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 葛巻 清吾 (株)サムズオフィス 代表取締役社長</li> <li>● 伊藤 誠 筑波大学 教授</li> <li>● 佐藤 典仁 森・濱田松本法律事務所 外国法共同事業 パートナー</li> <li>● 高田 広章 名古屋大学 教授</li> <li>● 廣瀬 敏也 芝浦工業大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 清水 悦郎 東京海洋大学 教授</li> <li>● 佐々木 吉通 (一財)日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター長</li> <li>● 長 俊寿 (一財)日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター 主管</li> <li>● 野中 朋美 早稲田大学 教授</li> <li>● 満行 泰河 横浜国立大学 准教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 清水 悦郎 東京海洋大学 教授</li> <li>● 長 俊寿 (一財)日本海事協会 デジタルトランスフォーメーションセンター 主管</li> <li>● 野中 朋美 早稲田大学 教授</li> <li>● 満行 泰河 横浜国立大学 准教授</li> </ul>
担当部署・PL	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道局 技術企画課 技術開発室</li> <li>● プロジェクトリーダー 河村 篤男 横浜国立大学 名誉教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道局 技術企画課 技術開発室</li> <li>● プロジェクトリーダー 岩倉 成志 芝浦工業大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 物流・自動車局 技術・環境政策課</li> <li>● プロジェクトリーダー 葛巻 清吾 (株)サムズオフィス 代表取締役社長</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海事局 海洋・環境政策課</li> <li>● プロジェクトリーダー 清水 悦郎 東京海洋大学 教授</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海事局 海洋・環境政策課</li> <li>● プロジェクトリーダー 清水 悦郎 東京海洋大学 教授</li> </ul>

オブザーバー：磯部 雅彦 統括プログラムマネージャー

事務局：(一社)低炭素投資促進機構、運営支援：PwCコンサルティング合同会社

## ■第1分野の様子

水空ドローンによる点検技術



### ○プロジェクト名：

「事後保全」から「状態監視保全」へ次世代水空ドローンによる河川状態監視と保全プロジェクト

### 【開発技術のポイント・先進性】

- ・ドローンを目標位置に着水させ、川を下りながら測量や撮影を行い護岸の状況把握を可能にする
- ・大河川の洪水時流速を目安に急流河川の維持管理、洗堀計測を可能とする

### 【成果イメージ】



2024年3月のイメージ図

## ■第2分野の様子

羽田空港における  
アバターロボットの実証見学

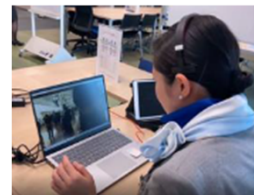


### ○プロジェクト名：

空港業務の人手不足の抜本的解決に向けたアバターロボットの大規模実証

### 【開発技術のポイント・先進性】

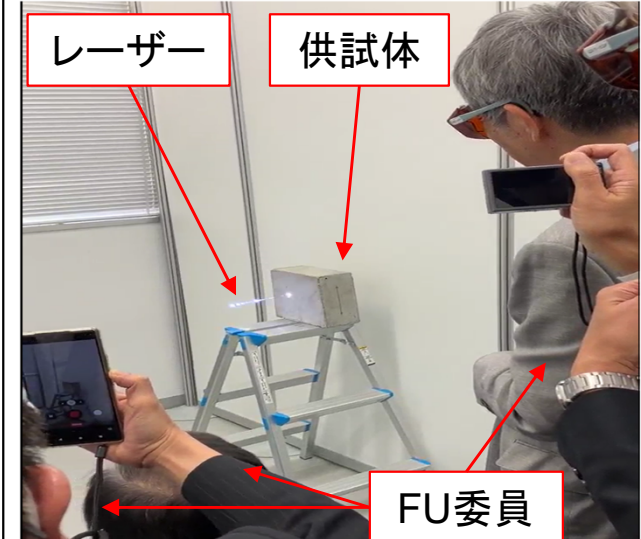
- ・アバターロボットの大規模導入を支えるための環境構築に関して、実際の空港環境下で実証実験を実施。
- ・遠隔操作で動き回りながら接客サービスし、データ収集を行うロボットの活用は、世界的にみてもユニークな技術。



オペレーションの様子

## ■第3分野の様子

トンネル壁面を模した供試体を用いたレーザー打音の実証



### ○プロジェクト名：

光技術（レーザー等）を活用した鉄道施設の維持管理に係る技術実証

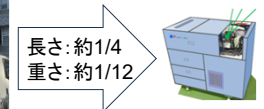
### 【開発技術のポイント・先進性】

- ・鉄道トンネルの覆工面に対し、レーザーを使用した打音で物理的劣化検査を行うシステムを開発。
- ・打音検査を遠隔非接触で代替する唯一の技術。
- ・既存の道路用検査装置をベースに、鉄道構内で運用可能なサイズに小型化。

装置の小型化の確認



道路用レーザー打音検査装置



長さ: 約1/4  
重さ: 約1/12

鉄道用レーザー打音検査装置